第２学年　技術・家庭科　技術分野

学習教材および学習の進め方

使用教材	技術・家庭[技術分野]（開隆堂） 栽培教材 電気教材	持ち物	教科書 筆記用具 ファイル
学習の進め方	＜確かな学力を身につけるには＞ 実習の授業では「なぜこの道具を使うのか」を考えながら作業しよう 座学の授業では先生の発言やクラスの友達の発表をメモしておくとよい。 工具の安全な取り扱い方をよく理解してから作業に取りかかろう ＜家庭学習では＞ プリントをよく見返して正しい作業手順を復習しておこう ＜定期テストでは＞ 教科書とプリントをしっかりと見直して、技術に関する様々な語句や 工具の使い方を復習しておこう ＜学び合いについて＞ 作業で困ったことがあったときはまずグループの友達に聞いてみよう ひとつの作業を二人で協力して進める場合もあります		
学習上の注意	移動教室でもベル黙をしっかりと守る 毎回ファイルと教科書は必ず持ってくるようにする ケガをしないように集中して作業に取り組むようにする 先生の話を聞くとき、友達と話し合うとき、作業をするとき、今がどの時間なのかを意識して気を抜かないようにする ※服装は座学のときも実習の時も「制服」で行います。		

学習内容および評価規準

	月	単元計画	
一学期	4 5 6 7	・わたしたちの生活とエネルギー変換 ・電気エネルギーの利用 ・動力の利用	
二学期	9 10 11 12	・エネルギー変換作品の製作実習 ・エネルギー変換作品の製作実習 ・エネルギー変換に関する技術の評価と活用	中間
三学期	1 2 3	・わたしたちの生活と生物育成 ・生物の育成 ・作物の栽培実習 ・動物の飼育 ・水産生物の栽培 ・生物育成に関する技術の評価と活用	学年末

評価の観点	評価の方法（見取り）	
知識・技能	・生物育成やエネルギー変換に関する知識が身につき、活用できている。 ・育成環境を工夫して育成することができる技術を身につけている。 ・構想に基づいて設計し、回路図や組立図にまとめる技能を身につけている。 ・適切に道具を扱い、安全に正確な作品づくりをすることができる。	・作品 ・テスト ・プリント
思考・判断・表現	・生物育成・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気づくことができる。 ・育成する作物に適した環境条件について考え、目的に合わせて栽培計画を立てる力を身につけている。 ・効率的な作業のために工具の使い方などを工夫することができる。	・作品 ・テスト ・プリント
主体的に学習に取り組む態度	・生物育成やエネルギー変換についての技術に関心を持ち、実習に意欲的に取り組んでいる。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成・エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。 ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。	・授業への取り組み ・課題への取り組み ・プリント